

# 外来患者待ち時間短縮への 取り組み

山口県 徳山医師会病院 薬局

坂田 幹枝、有馬 治男、吉永 哲史、伊ヶ崎 芳美  
澁江 なつ美、久野 ひとみ、西村 正広

## 【緒言】

当院では、外来患者の薬は分包の必要がない限り全てPTP包装で調剤を行なっていた。これは、時間・コスト・労力の削減のためであったが、外来パーキンソン病患者の服薬状況とその問題点についてアンケート調査を行うと、PTPから出しにくい等の理由から一包化を希望している患者がいることが分かった。(第39回日本薬剤師会学術大会にて発表)

よって、希望者への一包化調剤を開始することにしたが、待ち時間が長くなったためPTP調剤に戻して欲しいという声も聞かれた。そこで、現状把握と共に分包調剤の時間短縮への取り組みを行ったので報告をする。

# 【外来パーキンソン病患者の服薬状況と 問題点における調査】

**対象：H18年4月に外来受診したパーキンソン病  
患者69名**

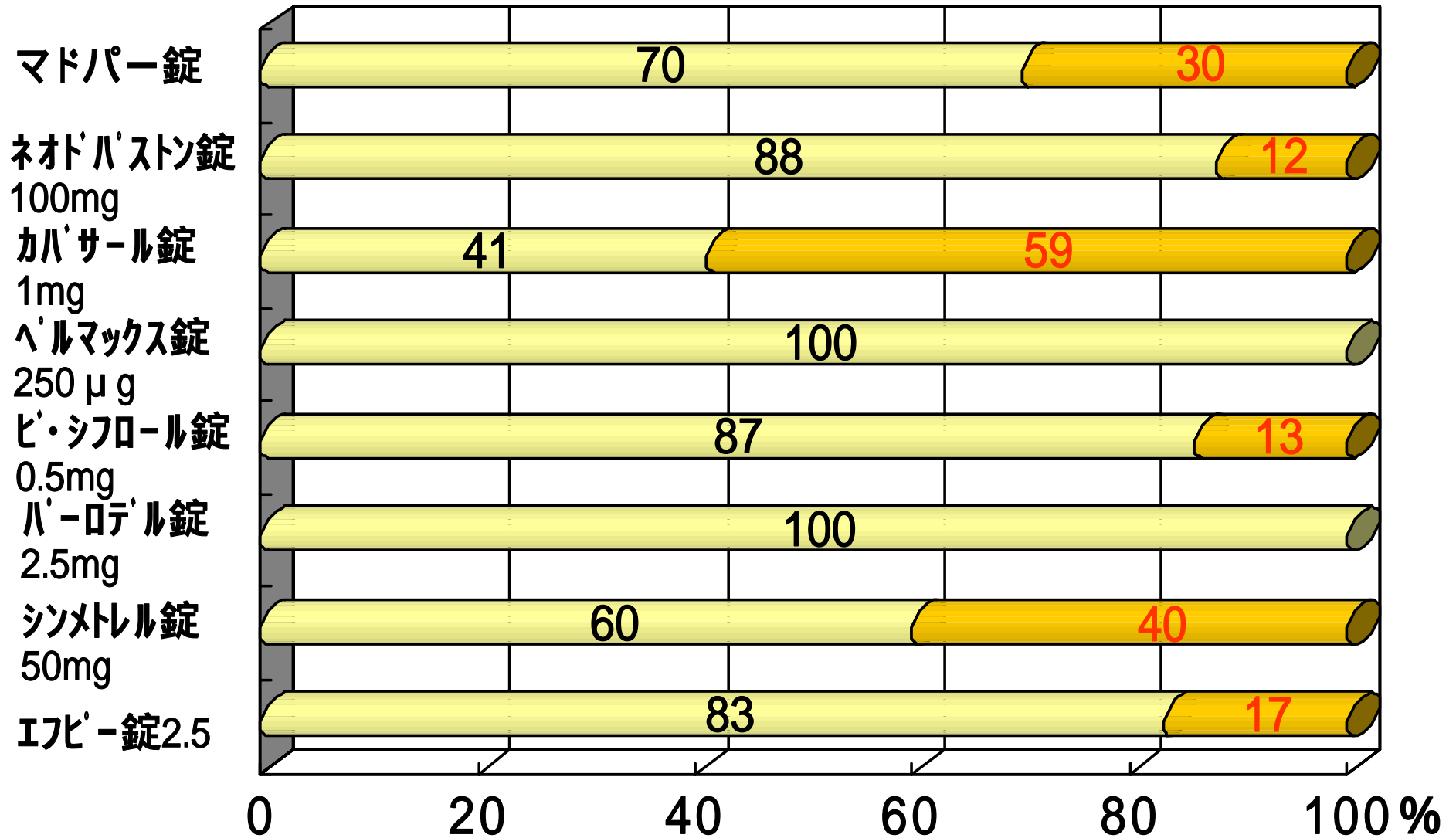
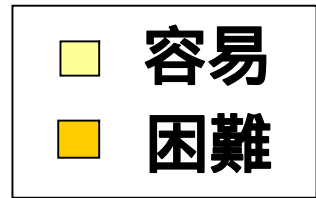
**性別：男性28名 女性41名**

**平均年齢：70.3歳**

**方法：聞き取りアンケート調査**

# 【結果（抜粋）】

## PTPからの出し易さ



## 一包化を希望しますか？

希望する： 14人 (20%)・・・H18年9月時点

### 希望しない理由

- ・自分でできる間は自分で 13人
- ・調剤に時間がかかる 8人
- ・家族がする 3人
- ・かさばる 1人

## 【前回の結果による考察】

パーキンソン病患者の場合、PTPから出しにくいこと、またカバサル錠等の小さい錠剤はつかみにくいこと等から一包化を希望されていることが分かった。

しかし、希望しない理由として、調剤に時間がかかるという意見が多くあり、いかに早く調剤するかが問題となった。

そこで、実際に調剤に要している時間を把握すると共に、より短時間で調剤を行う方法を考えることにした。

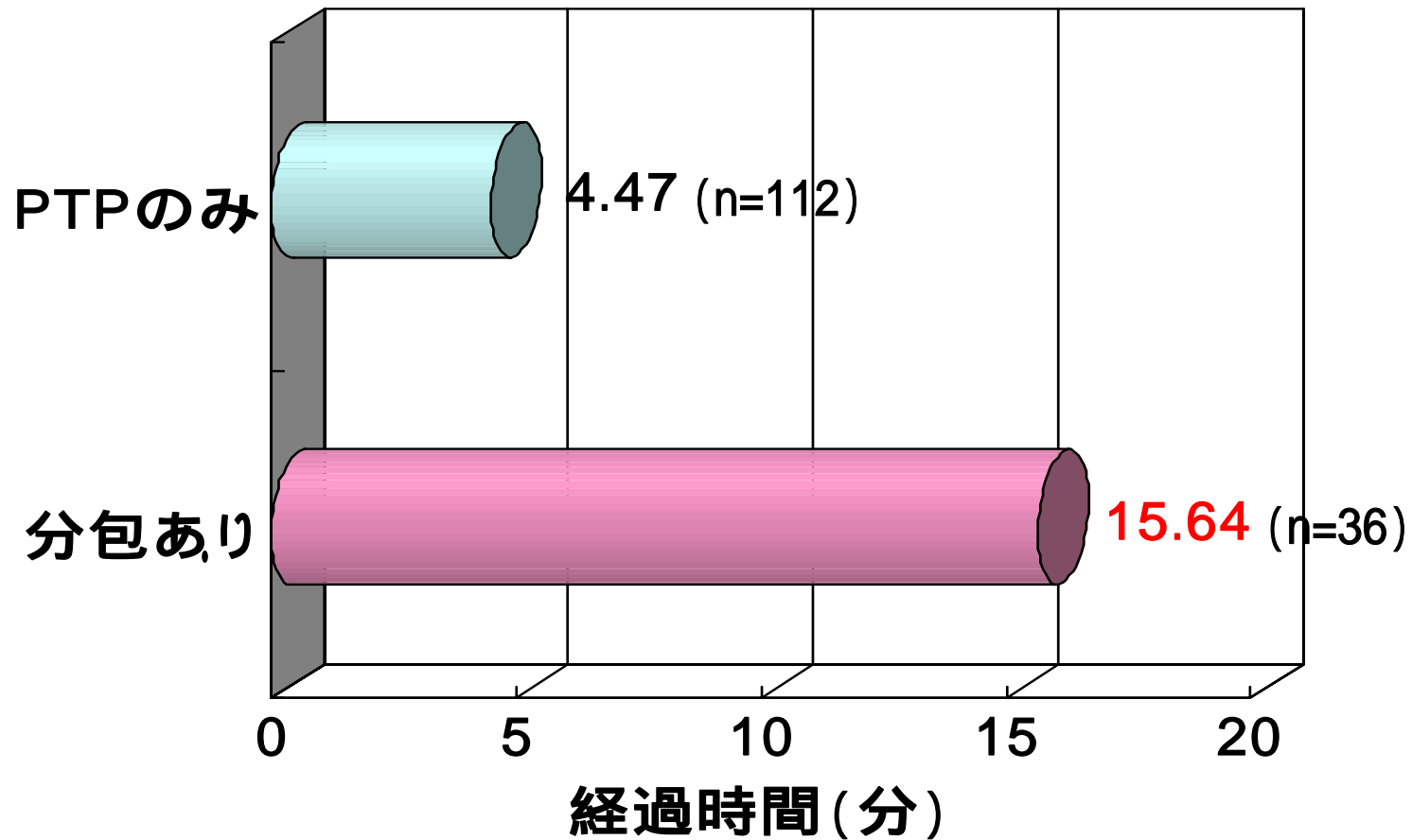
## 【調査方法】

**対象:** H18 6月2日～12月22日(約6ヶ月)の間に  
来院された外来患者

**内容:** 処方箋が薬局に届いてから、投薬できる  
状態になるまでの時間を計る

# 【現状把握】

( 6 / 2 ~ 6 / 30 )



## 【要因分析】

なぜ、分包すると時間がかかるのか？

- PTPから出すのに時間がかかる
- 分包機のコンベアにセットするのに時間がかかる
- 監査に時間がかかる
- 用法別に朝・昼・夕の印鑑を押す必要がある
- 入院処方分包との並行による割り込み
- 間違えていたら始めからやり直す必要がある

## 【対策】

**シンメトレルバラ包装採用** (7月3日～)  
服用患者が多く分包することが多い為、PTPから出しカセットに充填する時間を省く。

**マドパー、エフピー、ビ・シフロール、アーテン、ペルマックスカセット開始** (8月7日～)  
服用患者が多く、毎回コンベアにセットする時間を省く。

**カバサールカセット開始** (9月1日～)  
コンベアにセットする時間を省く。

マドパー、ビ・シフロール、ペルマックス、カバサールは**防湿**や**遮光**を必要とする薬剤であるため、本来はカセットに充填しておくことはできないが、分包する**直前に必要数**だけをPTPから**出す**ことでカセットを使用できるようにした。

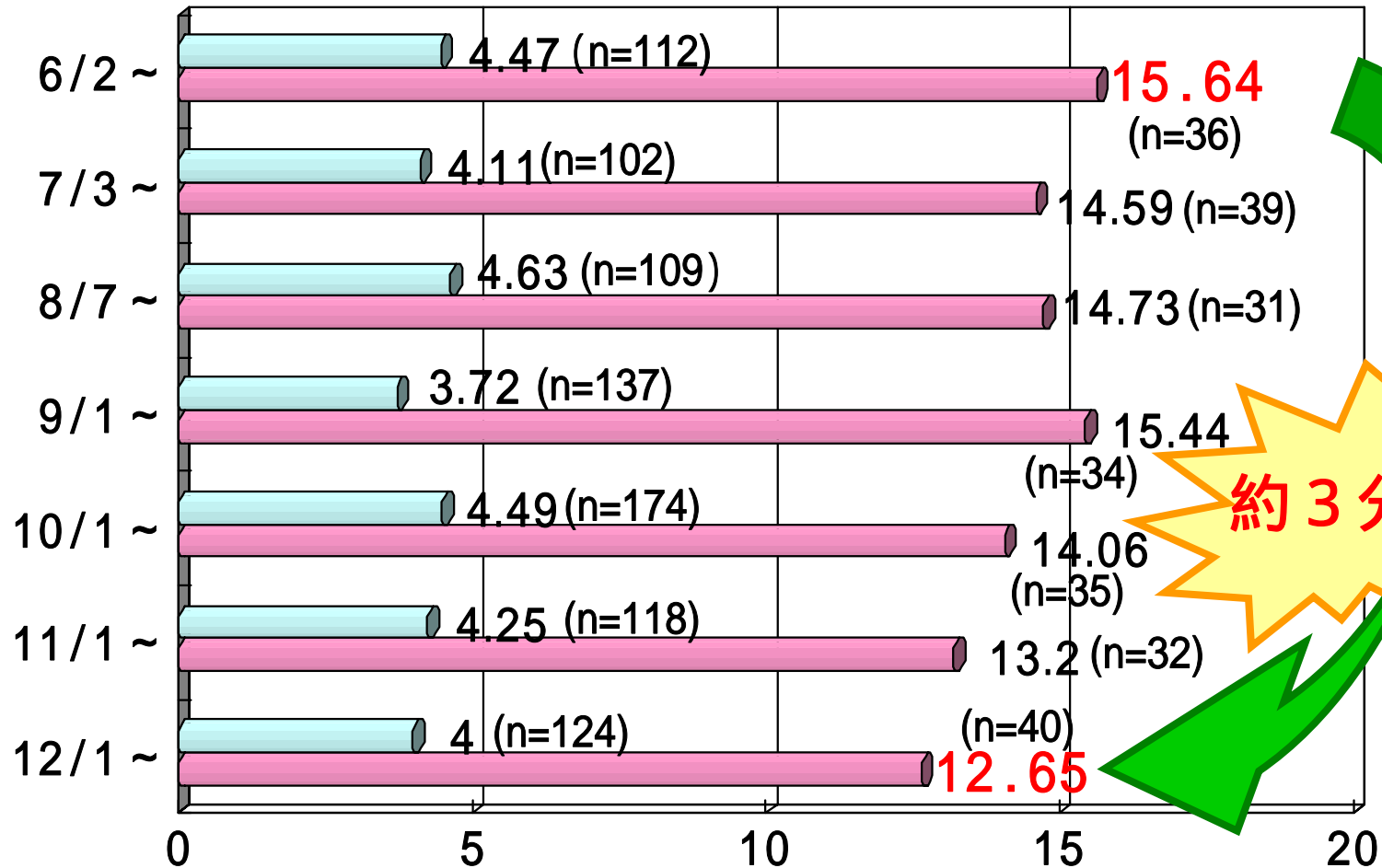
**外来分包以外の分包を消す** (11月1日～)  
他の処方の分包を消すことによって余計な時間を省く。



**なぜ、時間が省けるのか？**

分包機の性能上、予め他の分包が入力されていると割り込み機能を使っても**4番目**に登録されてしまう。また、割り込みをした次に分包が登録されていると、ある程度その分包が進まないで割り込みをした方の分包が機械から出きらない。よって外来分包の前後を消すことによって余計な停止時間を省くことが出来る。

# 【結果】



経過時間(分)



約3分減!

## 【結果・考察・今後の対応】

今回、**考案した対策法は時間短縮に有効**であったと言える。しかし、**確実に短縮はしたものの大幅な短縮とは言えなかった**。原因としては、**薬のセットミスによる分包のやり直しなどが考えられる**。**慎重かつできうる限り素早くセットすることがこれからの課題**ともいえる。

現在、当院では外来患者数が増加してきているほか、病状の悪化などの理由から今後、更に一包化希望者も増えることが予想される。今回の結果を基に、PTPから出す時間を短縮するためPTP除包機の購入(下記参考)や外来予定患者の多い日は、分包を少しずつ入力する等の更なる工夫と努力をしていきたいと思う。

# PTP除包機購入に当たりデモ機(2台の機種)を借りてマドパー90錠をPTPから出す速さを計測した

計測方法:1人(新人)が3種の方法においてかかった時間をそれぞれ1回ずつ計測

	パラスター	からやぶり	手でバラす
時間	48秒	1分15秒	1分10秒
欠点	錠剤が残る又ははねる・飛び出る 2列以上のシートはできない  細かいシートの破片が入る	1列ずつしかできない 調節が難しいため割れることが多い コンセントが必要  形が丸以外のものは2錠ずつしかできない(ホリフルやカプセル剤等)	遅い  指が痛くなる(負傷者あり)

**時間が早く、欠点も少なく価格も安い**パラスターを購入。(9/11)  
欠点である「錠剤がはねる・飛び出る」は既存の透明シートをすることにより解決。また、細かいシート片も目の粗いふるい(購入)にかけることにした。